

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立沼津聴覚特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立沼津聴覚特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	31人

1. 使用状況

寄贈物品名	肋木
使用学年及び人数	幼稚部 9人 小学部 13人 計22人
使用頻度	学期期間中ほぼ毎日
使用状況	<p>本校中庭に設置しており、幼稚部幼児、小学部児童が、休み時間に遊んだり運動遊びや体育の時間に使用したりしています。</p> <p>主に、午前中は幼稚部の幼児、昼休みには小学部の児童が使用していますが、2学部同時に活動する時間もあります。</p>
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚部の幼児は、小学部の児童が使用している姿を見て、自分もやってみたく自分から挑戦するようになりました。はじめは、一段一段慎重に登っていましたが、何度も経験するうちに一番上まで登って遠くの景色を楽しんだり、片手で体を支えてジャンケンして遊んだりと遊び方を工夫できるようになりました。 ・小学部の児童は、中庭に出るとまずは肋木の所に集まって、登って遊んでいます。体の動きがぎこちない児童も、体育や遊びの時間等で肋木を使っていろいろな動きに挑戦していくうちに、柔軟に体を動かすことができるようになってきました。
今後の活用の見通しや課題	<p>安全基準を満たした肋木の設置により、幼児・児童が活発に活動しております。引き続き、教員が安全対策を取りながら、幼児から児童の遊びや運動の時間に活用していきたいと思えます。</p> <p>肋木を使用した、握力や体づくりなどの動きを考え、子どものために効果のある活動に役立てていきたいと思えます。</p>
その他希望や所感など	<p>今後も大切に使用させていただきたいと思えます。御支援いただきありがとうございます。ありがとうございました。</p>

2. 活用の様子

